

XMLとXSL-FOを使った 教材制作の事例

2011年12月7日

株式会社ベネッセコーポレーション

桑野和行

Table of contents

- 当社の実践事項／実践の動機／実践による成果
／現時点での成功の理由
- DTP制作のデメリット／なぜXMLを選んだか
／なぜFOを選んだか
- Formatterを選んだ理由・使い続ける理由／
アンテナハウスに望むこと
- 弊社の今後の課題と展望
- さあ、はじめましょう

自己紹介

- 桑野 和行 くわの かずゆき
- 社団法人日本印刷技術協会
XMLパブリッシング準研究会メンバー
 - <http://sites.google.com/site/fantastikk2010/>
- 株式会社ベネッセコーポレーション
デジタル戦略推進部 制作技術開発課所属

当社の実践事項

- 汎用・校了コンテンツの社内保有
 - 「進研ゼミ」などの教材コンテンツのうち、普遍的で構造化可能なもの
- 利用・再利用
 - 紙面用データ（PDF/X1a）やHTMLデータ、iアプリコンテンツなどに自動変換
 - 他の規格・媒体に転用

実践の動機

- 従来の弊社における制作上の課題
 - 制作物の多品種化
 - コンテンツが同様でも、企画ごと・媒体ごとの新規制作が不可避
- 今後は汎用性の高いコンテンツを多く持つことが重要

現時点での成功の理由

- 小さく産んだ
 - 身の丈にあった
 - 自分たちだけで対処できる範疇で
- 丸投げしない
- 編集者を選ぶ

DTP制作のデメリット

- DTP
 - ファイルフォーマットはソフト依存
 - コンテンツとレイアウトは不可分
 - 労働集約型

なぜXMLを選んだか

- | | |
|--------------------|------------|
| ● DTP | ● XML |
| ● ファイルフォーマットはソフト依存 | ● 汎用性 |
| ● コンテンツとレイアウトは不可分 | ● 再利用性 |
| ● 労働集約型 | ● 構造化できる |
| | ● 高速・自動で組版 |

なぜFOを選んだか

- W3Cの標準規格=ベンダーフリー

Formatterを選んだ理由

・使い続ける理由

- 選んだ理由
 - 日本語対応・縦書き対応
 - XSL-FOの実装度合い
- 使い続ける理由
 - 「かゆいところに手が届く」独自拡張
 - 迅速なサポート

アンテナハウスに望むこと

- 国内のXSLT・XSL-FOに関する情報発信源
 - メリットの周知
 - 日本語ドキュメント・Tips公開
 - 初学者のサポート
- アンテナハウス独自拡張をXSL2.0で正式仕様に

弊社の今後の課題と展望

- リユース事例を増やす
- 急激な案件増への対応とリソース不足解消
 - 受け皿稼働
 - ボトルネック解消

さあ、始めましょう

- テクニカルなことは判らない？
- 設備投資が必要？
 - むしろスモールスタート向き
- 汎用コンテンツの必要性！

end of document

- ご清聴ありがとうございました